

1811

2011・3/10

大阪教育

昭和29年2月16日第三種郵便物認可/毎月10日発行/1部30円(組合員は組合費に含む)/発行・大阪教職員組合・〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11・大阪府教育会館7F/TEL 6768-2330/FAX 6768-2239/daikyoso@daikyoso.jp 編集発行人・田中康寛/印刷・関西共同印刷所

大教組ホームページへアクセスを

<http://www.daikyoso.net/>

大教組、府教委交渉で

徹底追及

「賃金リンクNO」は圧倒的声



大教組は2月17日、「評価・育成システム」の廃止・撤回を求め、府教委交渉を実施。単組・支部代表を含む35人が参加し、賃金リンク改悪をおしする府教委の不当性をきびしく追及するとともに、「システム」の制度改悪による教育への介入・支配を許さない重要回答を引き出しました。(府教委の主な回答)参照

交渉の冒頭で田中康寛大教組委員長は、職場から寄せられた15265人分の署名を府教委に提出。あいさつのなかで、「システムNO」の教職員の判断が明確に示された府教委アンケート結果をとりあげ、「賃金リンク撤回は管理職を含めた『オール教育現場』の意思。府教委が行うべきはアンケート結果を踏まえた『システム』と賃金リンクの廃止・抜本的見直しだ」ときびしく指摘しました。

府教委とこの主体性を放棄

しかし府教委は教職員の声を無視し、「知事部局との整合性」ばかりを強調し、主体性を放棄する無責任な回答に終始しました。改悪の内容は、①勤勉手当の成績上位者に配分する原資を0・015月々0・03月に拡

教育ゆがめる「システム」は抜本見直しを

大、②昇給反映について、「標準」以上は4号給で統一するも下位評価者へのマイナス反映を継続(「やや良好でない」は3号給と2号給とペナルティーを拡大)、③自己申告票不提出者は一回目から昇給・勤勉手当は最下位扱い、というものです。

府教委「上位評価者が増える」は望まじく

また府教委が賃金リンク改悪と一体のものとして、1月21日強行した「システムの手引き」改定についても、その問題点を追及。大教組が、最上位評価を「全体の模範となる水準」、第二上位評価を「校内の模範となる水準」と上位評価のハードルを高くするかのよ

「システム」廃止・撤回の合意しつくり強めよう

「上位評価者が増えることは望まじく」と回答しました。たんは明らかです。大教組は府教委の不当性をきびしく批判・告発するとともに、職場からの学習・対話をすすめて、「システム」廃止・撤回の「オール教育現場の合意」と府民的共同をいっそう強める決意です。

【府教委の主な回答】

《賃金リンク》

(評価結果の給与反映については)「教員の職務及び学校現場の特性を考慮する」立場に変わりはない。また生涯賃金に影響する昇給反映については「昇給差の拡大を抑制する」考えに変わりはない。

《改訂版「手引き」》

◇評価基準の表現等の変更について

- 「教職員の評価・育成システム」は、教職員の育成を目的としており、絶対評価を行うのであって、上位評価者が増えることは望ましい。
- 「手引き」の改定前・改定後で評価基準の考え方に変わりはない。「全体の模範となる水準」の教職員、「校内の模範となる水準」の教職員が増えることは望ましい。

◇その他

- 自己申告票の目標は、当該教職員が主体的に設定し、校長が承認するものであり、校長が一方的に当該教職員の目標を変更することは考えていない。
- 「求められる行動パターン」を導入し、「学習指導のため、『補習・講習』を行う」「授業内容や指導方法の改善のため『授業評価や研究授業』を実施」と示しているが、これらのとりくみを教職員に強制するものではない。

▲現場の実態を訴える府障教組合員

青年フェスタに650人



関連記事2・3面



湧水

先日、大阪城公園にある梅園を訪れた。梅の花はまだ少なかつたが、日差しに春の訪れを感じた。成長を喜びあう別れと新しい出会いの季節も間もなくだ▼そんなおわり、元同僚からの連絡はつらかった。「あと3年あるけど、体調が良くならないのでやめる。家族にも迷惑をかけたし」と。梅を楽しむ余裕もなく悩み苦しんだ決断なんだらう。かける言葉が見つからなかった。昨年も部活でがんばっていた元同僚が数年を残して病気で退職した▼長年教職に尽くしてきたことによる心身の不調。それを自己責任かのように退職せざるをえない現状はあまりにも悲しく、どんなに不本意なことか。その後の人生にも大きく影響するはずだ▼若い人たちが含め、職場での健康破壊は深刻だ。教職員の心身の安全への配慮と施策が改定され、教育に市場原理を持ち込んだことがその背景にあることを忘れてはならない▼4月には統一地方選挙が予定されている。なんでも知事が思うままの翼賛府議会では、住民要求が切り捨てられるの目に見える。この4年間の教育現場の思いも是非ぶつきたい。(k・k)